

## 中学校向け「災害に備えた住まい方」授業例

	時刻	項目	内容	時間	留意点
導入 教員	10:35	本時の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本時の授業の目的について教員から説明。</li> <li>・教員：（例）自然災害への住まいの対策や家族の安全を考えた住空間について理解し、工夫を考えること</li> </ul>	2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>■在宅時の災害で危険をなるべく減らす</li> <li>■災害への備えに何が必要か知る</li> </ul>
	10:37	ゲストティーチャー（以下、GT）の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教員がGTを紹介。GT挨拶と自己紹介。</li> <li>・GT：自己紹介をする。</li> </ul>	1分	
	10:38	簡易実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>■牛乳パックを使った地震時の建物の揺れ方観察</li> <li>・教員：階の上下での家具の揺れ方、縦長と横長の家具の揺れ方の比較、家具の下に家電固定ジェルを置いた場合の効果を実験して見せる。</li> </ul>	3分	
展開 ① 教員	10:41	演習① 地震が起きたときにどこが危険になるか考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループ相談・作業</li> <li>・教員：読本P7子供部屋のイラストを活用してワークシートとし、地震の際、どのような危険が考えられるか話し合い青ペンで記入する。（※ワークシートはレイアウトを一部変更していま</li> <li>■発表</li> <li>・教員：数グループに発表（黒板に記入）させる。発表（記入）後、内容を確認する。</li> </ul>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>■読本P7子供部屋部分をA3コピーして各グループ1部配布（読本は全員配布・見るだけ）</li> <li>■イラストでは見えない危険（照明器具の落下など）も考えるよう促す。</li> </ul>
	10:51	演習② 地震に備えるためにどんな工夫ができるか考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループ相談・作業</li> <li>・教員：演習①の結果を踏まえ、危険に対してどのような備えや工夫ができるか話し合い、危険に対する解決策を黒字でワークシートに記入する。</li> <li>■発表</li> <li>・教員：数グループに発表させる。（実物投影機でワークシートを写しながら）発表後、個人用ワークシートに記入させながら中間まとめを行う。</li> </ul>	10分	
展開 ② GT	11:01	資料映像視聴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅内の地震時の状況</li> <li>・地震が起きたときの室内の様子</li> </ul>	4分	●資料映像
	11:05	クイズで確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前半を踏まえたクイズ</li> </ul>	5分	●防災クイズ
	11:10	講義①	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発表に対するアドバイス</li> <li>・GT：生徒の発表に対し、資料映像や読本P18を踏まえて解説やアドバイスをを行う。</li> </ul>	3分	●家電固定グッズやガラス飛散シートなどの実物を見せる。
まとめ	11:13	講義②	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地震に関する基礎知識</li> <li>・GT：大地震が起こる可能性など基礎的なことについて説明する。</li> <li>・GT：非常持ち出し品（読本P19下段）の説明。持っておくと便利というもの等を紹介する。</li> <li>・GT：日本赤十字社の取組や震災の際の体験談など生徒に伝えたいことについて講義する。</li> </ul>	7分	●青森県も大地震が起こる可能性が高いことを理解してもらう。
	11:20	ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめ</li> <li>・教員：個人用ワークシートに分かったことや疑問に思ったこと等を記入させ、数人にて発表させる。</li> </ul>	5分	
	11:25	終了			